



国土交通省北海道運輸局 主催



地域公共交通 シンポジウム in 北海道

～地域で導き出す最適な地域公共交通体系の形成に向けて～



■ 日時 2018年 **12月7日** (金)
14:00 - 17:30

■ 場所 **TKP 札幌駅
カンファレンスセンター**

札幌市北区北7条西2丁目9ベルヴュオフィス札幌3F

公共交通利用促進キャラクター
「のりたろう」



地域公共交通シンポジウム in 北海道

JR北海道は、厳しい経営環境に置かれており、一昨年11月に単独では維持困難な線区を公表し、地域における持続可能な交通体系の構築のために地域と協議を行いたい意向を示しました。以来、道内各地域において、地域にとって最適な地域公共交通体系をどう形成していくか、議論が進みつつあります。一方で、既に全国の様々な地域において、交通事業者、地域住民、行政が連携して地域の公共交通を支え、その維持・活性化を図っている取組事例が見られます。

そこで、各地域での取組事例等に詳しい有識者からの講演等を通じて、北海道の各地域にとって最適な地域公共交通体系の形成に向けて、皆様とともに考える機会となるよう、本シンポジウムを開催します。

プログラム

14:00-14:05 主催者挨拶 国土交通省北海道運輸局 局長 大高 豪太

14:05-14:10 来賓挨拶 北海道 副知事 窪田 毅 様

14:15-15:40 第1部 講演

●話題提供 『JR北海道の経営改善について』

国土交通省鉄道局鉄道事業課長 石原 大

●基調講演 『地域を支える公共交通網の再整備は待ったなし！
～前に進むのか？このまま立ち止まり続けるのか？～』

名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤 博和 氏

●事例発表 『地方路線維持の考え方、取組について』

公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事事業本部長 前田 忍 氏
(前大井川鐵道株式会社代表取締役社長)

15:55-17:25 第2部 パネルディスカッション

●議題 『地域で導き出す最適な地域公共交通体系の形成』

パネリスト：○名古屋大学大学院環境学研究科教授

加藤 博和 氏

○北海道網走市長

水谷 洋一 氏

○公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー理事事業本部長
(前大井川鐵道株式会社代表取締役社長)

前田 忍 氏

○国土交通省鉄道局鉄道事業課長

石原 大

コーディネーター：○元 釧路公立大学学長

小磯 修二 氏

(一般社団法人地域研究工房 代表理事)

17:25-17:30 閉会挨拶

講師プロフィール



名古屋大学大学院環境学研究科
教授 加藤 博和 氏

1970年 岐阜県多治見市生まれ
名古屋大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学研究科博士後期課程修了後、同助手、環境学研究科准教授を経て2017年より現職。低炭素都市・交通に関する教育研究の傍ら、地域公共交通プロデューサーとして全国各地の「現場」で立て直しを支援し、講演活動も行う。ローカル鉄道の活性化や、廃線後の代替交通確保に関する経験も豊富。国土交通省交通政策審議会委員を務め国の制度設計にも関与。



公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
理事事業本部長 前田 忍 氏
(前大井川鐵道株式会社代表取締役社長)

1971年 岐阜県恵那市生まれ
北里大学卒業後、米国の大手製薬会社に入社。大手通信販売業などを経て、名古屋商科大学大学院で経営学修士取得後、2013年にエクリプス日高株式会社代表取締役に就任し、ホテル再生事業を手掛ける。2015年、大井川鐵道株式会社代表取締役社長に就任し事業再生の陣頭指揮を執る。2017年に退任した後、静岡県浜松市内で起業し、中小企業や地域経済の活性化に向けたアドバイザー業務を手掛ける。2018年、浜松・浜名湖DMO COO(事業責任者)に就任。

主催：国土交通省北海道運輸局

お問い合わせ：日本データサービス株式会社 企画部 大島、中野 TEL：011-780-1121